

今年度は、Zoomを使ったオンライン講座を開催しました！

令和2年度 福井県消費生活センター委託事業 消費者教育担い手養成講座「わたしの選択とこれからのくらしの基本セミナー(全10回)」が、9月8日(火)に開講しました！消費生活についての知識を広め、周囲にも伝えられる消費者教育のリーダー育成をめざします。毎週火曜日の午前中、第8回まで開催しました。また、地域で活動されている県内の消費者団体との交流会も開催しました。

9月8日(火) 開講式・第1回『消費者市民社会』

福井県消費生活センター所長 中社 敏朗氏より、「消費者として自分ができることは何かを考えながら、消費生活に関する必要な知識を身につけ、その成果を消費者教育の担い手として発信してください。」とご挨拶いただきました。

講師は、福井県安全環境部 県民安全課 企画主査 堀 晃輔氏です。より良い地域や社会をつくるために何ができるのかをテーマに、エシカル消費や消費者市民社会について教えていただきました。

福井市くらしの会は、持続可能な社会の形成と安全・安心なくらしのため、消費者意識の向上を図る取り組みを実践されています。「疑問や問題意識を持って、より良いくらしに変えていくこと、活動していくことが大切です。皆さんに期待しています。」と、田村洋子会長から、励ましの言葉をいただきました。



9月15日(火) 第2回『食の安全安心』

講師は、至学館大学 健康科学部 栄養科学科 教授 小塚 諭氏です。「食品添加物と食中毒 今こそ正しい食の知識を！」と題して、コロナ禍も含めた食品の安全安心に関する正しい知識について教えていただきました。

敦賀市消費者連絡協議会は、消費者相互の連携を密にし、消費者の知識と立場を向上させることを目的として活動されています。「私たちは、消費者である前に生活者であるという事を意識し、視野を幅広く持ち、消費者の立場を向上させる活動に関心を持ってください。」と、増田正樹副会長からの呼びかけがありました。



9月22日(火) 第3回『コロナ禍の生活術』

講師は、生活経済ジャーナリストとして多方面でご活躍されているいちのせ かつみ氏です。新型コロナウイルス感染症によって、私たちのくらしは大きく変化しました。家計を見直し、様々な制度を活用するなど、反省から改善点を見つけ出し、コロナ禍の新たな家計スタイルについて教えていただきました。

小浜市消費者協議会は、2000年にマイバッグ運動を開始され、マイバッグの作成・配布などを行い、現在は男性のマイバッグ持参率を上げるための啓発活動を実践されています。同会の活動内容について、事務局よりご紹介しました。



9月29日(火) 第4回『防災減災の知恵』

講師は、NPO法人 まちの防災研究会 理事長 松森和人氏です。防災減災の大原則は、「自分の命は自分で守る」こと。地域防災の中で自助は8割の重要性を占めます。「自助の意味を再認識し、都合の良い自助ではなく、普段から自分の命を守る方法を考えることが大切。」と教えていただきました。

鯖江市くらしをよくする会では、エシカル消費について学び、地球や環境、社会、地域、人に配慮した商品についての勉強会や出前講座などに取り組まれています。水野豊美子会長は、エシカル商品のパッケージをZoom越しにご紹介くださいました。



10月6日(火) 第5回『相続と生前整理』

講師は、青木行政書士事務所 代表 青木克博氏です。「何がどう変わる!? 新相続法 今からできる生前整理とは」と題して、改正された相続法の概要について、私たちの生活に大きく関わる点を中心に教えていただきました。また、自分や家族が亡くなった時に生じる相続を、より良いものにする生前整理についてお話いただきました。

勝山市消費者団体連絡協議会は、「もったいない」を合言葉に、いらなくなったものを譲り合う活動「蚤の市」を開催されています。環境保全に関する取り組みや、地元の小中高生が考えた「エコかると」の作成及び実施など、消費者意識の向上を図る取り組みを実践されています。山場真理子会長は、「蚤の市」ののぼり旗をバックに、活動内容についてご紹介いただきました。



10月13日(火) 第6回『消費者トラブル』

講師は、消費生活専門相談員 中嶋恵美氏です。「より巧妙で悪質! 最近の手口 コロナ禍の便乗詐欺に要注意!」と題して、コロナ禍の相談の特徴と傾向についてお話いただきました。架空請求やインターネット通販、健康食品や化粧品の定期購入の相談が増加し、コロナ関連の相談も急増しているとのことでした。「不審なメールやURLは開かないこと、一人で悩まず相談すること。」と、注意喚起されました。

越前市消費者グループ連絡協議会は、ちびっこフェスティバルや食と農の感謝祭など、県や市が主催するイベントに参加し、地域とのかかわりを大切にしながら活動されています。佐藤かよ子会長は、「地域の消費者団体の活動に興味を持ってください。共に勉強しましょう。」と呼びかけられました。



10月20日(火) 第7回『人生100年時代』

講師は、ファイナンシャルプランナー(CFP) 前野 彩氏です。「人生100年時代のマネープラン～暮らしの中のリスクとお金～」と題して、人生100年時代を生き抜くために必要な年金の受け取り方、お金の育て方、住まいの守り方を教えていただきました。学校でも社会でもお金のことは教わりません。「将来のためにお金のことを知り、上手く制度を利用することは、安心してお金を使えることに繋がります。」とご講義いただきました。



10月27日(火) 第8回『持続可能な開発目標』

講師は、2030 SDGs公認ファシリテーター 高井健史氏です。「みんなで考えよう! SDGs 私たちがつくる持続可能な社会」と題して、これからの社会を、持続可能でより良いものとするために私たちはどうしたらよいかを学びました。

大野市消費者グループ連絡協議会は、生ごみを活用した堆肥づくりに重点的に取り組まれており、「生ごみ減らし隊」を結成されました。「地域資源循環型まちづくりを目指した環境問題への取り組み」を実践されています。同会の活動内容について、事務局よりご紹介させていただきました。



私たちの暮らしの現状を学び、これからの消費者市民社会を担う私たちはどんな力をつけたらよいか、これから何ができるのかについて考えました。残り2回(第9回、第10回)の講義も継続して学びます!